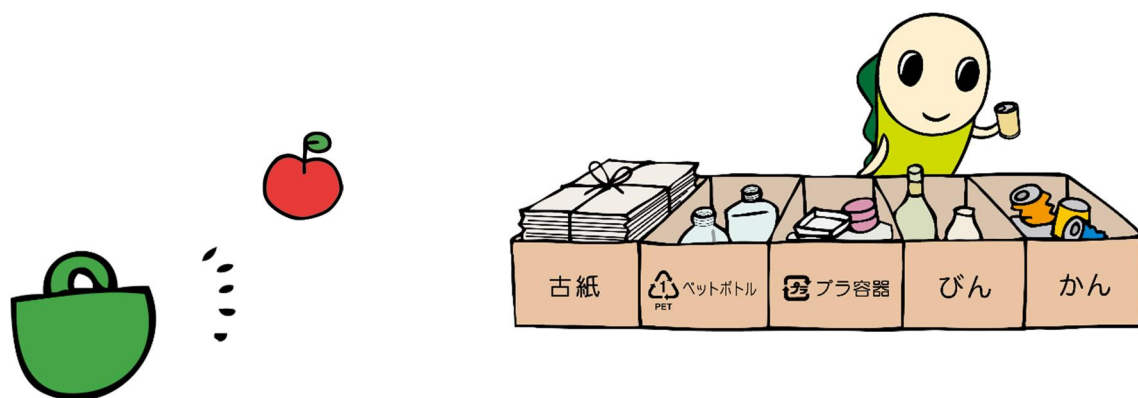

事業別行政コスト計算書

令和5年度



杉 並 区

■ 事業別行政コスト計算書とは

事業別コスト計算書は、区民に身近な行政サービスについて、1年間のコストと、それがどのような収入で賄われたか、また、利用者1人当たり等の単位コストはいくらになるのか、などを示しています。

計算書では、現金収支のほか、退職手当引当金繰入や減価償却費といった、決算だけでは見えないコストの把握をすることができます。コストに対して利用者が負担する使用料等の収入を示すことで、税としての区民全体の負担の状況が明らかになります。

■ 作成目的

本コスト計算書は、以下3点を主な目的として作成し、区民の皆さんに公表するとともに、今後の事業の見直しや改善等に活用します。

- ① 現金収支のほか、決算では見えない減価償却費等を含めたコストを明らかにする。
- ② 当該事業にかかる行政サービスと受益者負担の関係や、税としての区民全体での負担状況を明らかにする。
- ③ 利用者1人当たり等、単位ごとのコストを明らかにする。

■ 作成基準

○対象会計範囲

一般会計（令和4年度決算額）

○コストの基準日

令和5年3月31日

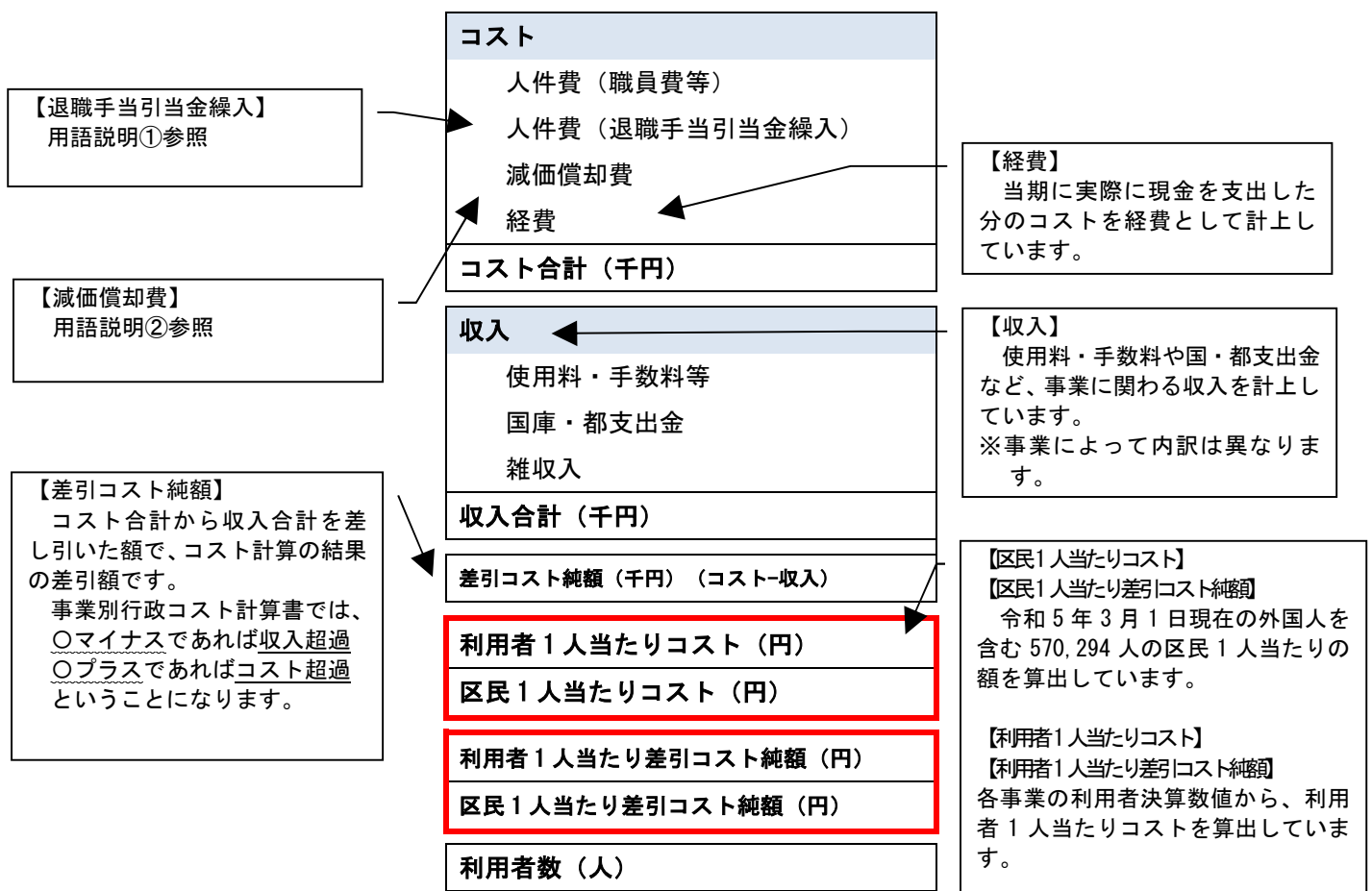
○コストの範囲

現金収支のほか、退職手当引当金繰入や減価償却費といった、現金収支を伴わない経費を対象としています。

－ 目次 －

○事業別行政コスト計算書の見方	．．．	P1
○新型コロナウイルス感染症対策	．．．	P2
○資源の回収	．．．	P6

■ 事業別行政コスト計算書の見方



※数値については、原則として四捨五入をしているため、合計が合わない場合があります。

■ 用語説明

① 退職手当引当金繰入

退職金のコストは、職員の在職期間中に発生しているという発生主義に基づいて、毎年退職金を積み立てる想定で引当金を算出しています。

② 減価償却費

建物や物品など、長期にわたって使用される資産の取得に要した支出を、その資産の耐用年数に応じて分割し、コストとして計上したものです。例えば、耐用年数10年の物を100万円で購入した場合、翌年度から毎年10万円ずつ減価償却費として計上されます。

新型コロナウイルス感染症対策

～区内医療機関への支援策について～



新型コロナウイルス感染症対策について、この間の区の実施を振り返ります。

医療機関への支援（発熱外来に必要な経費の補助、休業期間中の経営継続に必要な経費の補助、感染症法で規定されている医療費等や、病床確保のための転院支援）について、患者1人当たり・区民1人当たりのコスト分析を行います。

●事業プロフィール

- 事業主管課 健康推進課、保健予防課、在宅医療・生活支援センター
- 事業開始 令和2年2月
- 対象機関 区内基幹病院（4病院）、区内医療機関（178診療所）
- 対象者 延べ326,242人（令和5年3月31日現在）
- 区内医療機関への支援

・区内医療機関への発熱外来設置支援

区内感染症診療協力医療機関等における発熱外来及びPCR検査スポットでの検査体制を強化し、適正な診療を維持するため、必要な経費を補助します。

・休業中の経営継続支援

PCR検査等を実施する区内医療機関に勤務する従事者が感染症に感染したことにより、休業若しくは休診又は診療の縮小を余儀なくされた医療機関に休業中の経営継続に必要な経費の一部を補助します。

・医療費の公的負担・移送費

新型コロナウイルス感染症の入院患者に対して、感染症法で規定された医療費の一部を公費負担します。

また、感染症患者が医療機関等に移動する際に周囲への感染を防ぐため、民間救急による移送を行い、その費用を負担します。

・病床確保のための転院支援

区内基幹病院等における感染症患者の病床を確保するため、基幹病院等に入院している感染症患者の転院を受け入れた区内医療機関に対して補助金を支給します。

令和2～4年度のコスト

- ◇事業全体のコスト 43億6,844万9千円
- ◇患者1人当たりのコスト 13,390円
- ◇区民1人当たりのコスト 7,657円

収入で賄うことができないコスト (税による負担額)

- ◇事業全体のコスト 23億7,616万4千円
- ◇患者1人当たりのコスト 7,283円
- ◇区民1人当たりのコスト 4,165円

◇『新型コロナウイルス感染症対策』行政コスト計算書

コスト ★	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
人件費（職員費等）	89,395	77,210	81,378	247,982
人件費（退職手当引当金繰入）	5,136	8,729	4,727	18,592
減価償却費	0	0	0	0
経費	2,326,079	954,436	821,359	4,101,874
コスト合計（千円）・・・①	2,420,609	1,040,375	907,465	4,368,449
収入 ★				
国庫・都支出金	537,065	708,668	687,984	1,933,717
その他の収入	39,570	18,278	720	58,568
収入合計（千円）・・・②	576,635	726,946	688,704	1,992,285
差引コスト純額（千円）（①－②）・・・③	1,843,973	313,430	218,761	2,376,164
患者数（令和3年/4年/5年 各3月31日現在）・・・④	20,655	98,608	206,979	326,242
杉並区人口（令和3年/4年/5年 各3月1日現在 ※合計列は3か年平均）・・・⑤	572,257	568,989	570,294	※ 570,513
患者1人当たりコスト（円）（①÷④）	117,192	10,551	4,384	13,390
区民1人当たりコスト（円）（①÷⑤）	4,230	1,828	1,591	7,657
患者1人当たり差引コスト純額（円）（③÷④）・・・⑥	89,275	3,179	1,057	7,283
区民1人当たり差引コスト純額（円）（③÷⑤）・・・⑦	3,222	551	384	4,165

- 令和2年度から令和4年度の事業全体のコストは43億6,844万9千円(①)、収入は19億9,228万5千円(②)、税負担額を表す差引コスト純額は23億7,616万4千円(③)となりました。
- 患者1人当たりの差引コスト純額は7,283円(⑥)、区民1人当たりの差引コスト純額は4,165円(⑦)となりました。

★補足

行政コスト計算書の作成にあたり、コストと収入を以下のとおり整理しています。

種類	内訳
人件費	新型コロナウイルス感染症対策にかかる健康推進課、保健予防課、在宅医療・生活支援センター職員分
経費	区内医療機関への発熱外来設置支援経費、医療機関に対する休業中の経営継続支援経費、医療費の公的負担・移送費、病床確保のための転院支援経費等
国庫・都支出金	新型コロナウイルス感染症対策にかかる国・都からの補助金

◇新型コロナウイルス感染症対策の各種取組にかかるコスト内訳

【令和2年度】						
コスト	入院・外来医療体制強化事業	区内医療機関への発熱外来設置支援	入院患者受入医療機関支援事業 ※1	休業中の経営継続支援	医療費の公的負担・移送費	病床確保のための転院支援
人件費（職員費等）	16,160	16,160	16,160	16,160	23,920	833
人件費（退職給与引当金繰入）	982	982	982	982	1,151	58
経費全体	1,709,474	160,706	99,470	43,680	307,780	4,968
コスト合計（千円）・・・①	1,726,616	177,848	116,612	60,822	332,852	5,859
患者1人当たりコスト（円）・・・①÷④	251,071	35,893	60,672	12,275	173,180	244,116
収入						
国庫・都支出金	29,330	104,903	99,470	43,680	254,714	4,968
その他収入	39,570	0	0	0	0	0
収入合計（千円）・・・②	68,900	104,903	99,470	43,680	254,714	4,968
差引コスト純額（千円）・・・③（①-②）	1,657,716	72,945	17,142	17,142	78,138	891
患者数 ※2・・・④	6,877	4,955	1,922	4,955	1,922	24
患者1人当たり差引コスト純額（円）・・・③÷④	241,052	14,721	8,919	3,460	40,654	37,116

【令和3年度】				
コスト	発熱外来等運営及び検体採取体制支援 ※3	休業中の経営継続支援	医療費の公的負担・移送費	病床確保のための転院支援
人件費（職員費等）	26,170	26,170	24,036	834
人件費（退職給与引当金繰入）	3,126	3,126	2,359	118
経費全体	390,972	40,950	513,894	8,620
コスト合計（千円）・・・①	420,268	70,246	540,289	9,572
患者1人当たりコスト（円）・・・①÷④	8,528	1,554	132,684	208,093
収入				
国庫・都支出金	338,764	3,640	359,272	6,992
その他収入	18,278	0	0	0
収入合計（千円）・・・②	357,042	3,640	359,272	6,992
差引コスト純額（千円）・・・③（①-②）	63,226	66,606	181,017	2,580
患者数 ※2・・・④	49,281	45,209	4,072	46
患者1人当たり差引コスト純額（円）・・・③÷④	1,283	1,473	44,454	56,093

【令和4年度】				
コスト	区内医療機関への発熱外来設置支援	休業中の経営継続支援	医療費の公的負担・移送費	病床確保のための転院支援
人件費（職員費等）	28,670	28,670	23,632	407
人件費（退職給与引当金繰入）	1,787	1,787	1,126	28
経費全体	103,460	96,010	608,473	13,416
コスト合計（千円）・・・①	133,916	126,466	633,231	13,851
患者1人当たりコスト（円）・・・①÷④	1,294	1,283	130,509	206,732
収入				
国庫・都支出金	102,740	93,644	478,500	13,100
その他収入	720	0	0	0
収入合計（千円）・・・②	103,460	93,644	478,500	13,100
差引コスト純額（千円）・・・③（①-②）	30,456	32,822	154,731	751
患者数 ※2・・・④	103,456	98,604	4,852	67
患者1人当たり差引コスト純額（円）・・・③÷④	294	333	31,890	11,210

※1： 感染症患者受入れに伴う院内感染対策及び医療、看護に応じた医療従事者の処遇並びに適正配置に要する経費の一部を補助し、医療提供体制の維持を図りました。

※2： 新規感染者数、入院勧告者数、転院支援実績数をそれぞれ計上しています。

※3： 区内感染症診療協力医療機関が設置する発熱外来等の運営に必要な経費を補助しました。また、検体採取医療機関を確保・維持するために、診療所を含めた区内医療機関がPCR検査の検体採取を実施する場合の運営費を補助しました。

- 令和2年度については、感染者が急増し地域医療の崩壊防止が早急に求められる中で、基幹病院の経営の安定化を図るために、入院・外来医療提供体制強化事業補助として、約17億円の補助を実施しました。そのため、令和3年度及び4年度に比べ、コストが大きくなっています。また、患者数は年度ごとに増加しているものの、変異株等の影響や自宅療養支援の充実により、入院や移送が必要ない自宅療養者が大幅に増えたことから、患者1人当たりのコストが下がっています。

◇新型コロナウイルス感染症対策の取組について

- 令和2年度以降、「新型コロナウイルス感染症対策寄附金」や各種補助金及び地方創生臨時交付金を活用し、感染症対策や医療提供体制強化を図りました。
- 区民が発症早期から適切な診療を受けられるよう、発熱外来及びPCR検査スポットでの検査体制を強化しました。
- 変異株の出現により、新規感染者数ならびに入院患者が大幅に増え病床がひっ迫したため、区内の感染症診療協力医療機関等に対して補助金等による支援を行い、コロナ専用病床を確保したほか、保健師や派遣看護師等による迅速な入院調整等を実施し、速やかな患者の入院及び移送を行いました。さらに、限りあるコロナ専用病床を効果的に運用するため、新型コロナウイルス感染症に係る治療を終えても基礎疾患等のため引き続き入院を必要とする方が他の医療機関に転院できるよう、受入医療機関に対して補助を行いました。
- このような取組により、感染症対策や医療提供体制を強化し、区民の命と健康を守ることができました。

◇今後に向けて

- 新興感染症等の発生に備え、事業の検証を含めて新型コロナウイルス感染症対策を振り返るとともに、区内医療機関や区医師会等と更なる連携協力を図ります。
- 新型コロナウイルス感染症へのこれまでの対応を踏まえ、新興感染症等の発生及びまん延に備えるため、(仮称)杉並区感染症予防計画を令和6年度に策定する予定です。策定にあたって、感染症発生の予防、まん延防止のための施策や啓発、検査実施体制及び検査能力の確保、感染症流行期ごとの対策、保健所の体制確保や人材育成と資質の向上を図ります。
- 新興感染症等の把握や入院調整等の各種手続きを迅速化するため、感染症管理システム導入により、特に第7波以降で大幅な業務の効率化及び簡略化を図ることができ、全庁の応援体制や保健師応援を縮小しての対応が可能となったことから、新興感染症等の発生に向け、汎用的な感染症管理システムの継続的な運用及び操作訓練の実施を検討していきます。

資源の回収



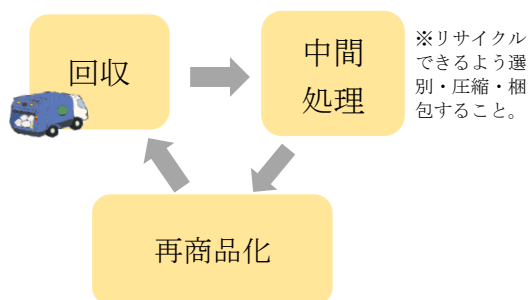
区では、再商品化が可能な資源(古紙、びん、かん、ペットボトル、プラスチック製容器包装)を分別収集することによって、ごみの減量と貴重な資源の回収を推進しています。集積所に出された資源を資源化中間処理施設へ搬入し、選別・圧縮・梱包の工程を経て、再商品化工場へ引渡し再商品化しています。

資源の持ち去り対策の取組として、早朝回収やパトロールを実施しています。また、利便性の高いペットボトルやプラスチック製容器包装は今後も増加傾向がみられることから、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴い、製造、販売、リサイクルの各段階で減量及び資源化に取り組むこととされました。

●事業プロフィール

- ・事業主管課 ごみ減量対策課、杉並清掃事務所
- ・事業開始 平成 12 年 4 月
- ・資源の種類 古紙、びん、かん、ペットボトル、プラスチック製容器包装
- ・対象範囲 区内全域

《資源の回収とながれ》



資源 洗ったり、つくりかえたりして
また使えるもの

びん 	かん アルミかん スチールかん	プラスチック製 容器包装 バック類 トレイ 発泡スチロール お菓子の袋
古紙 新聞 雑誌・本 雑がみ	ペットボトル PET	

令和4年度のコスト

- ◇事業全体のコスト 27 億 9,465 万円
- ◇1トン当たりのコスト 91,523 円
- ◇1世帯当たりのコスト 8,580 円

収入で賄うことができないコスト (税による負担額)

- ◇事業全体のコスト 23 億 7,209 万円
- ◇1トン当たりのコスト 77,684 円
- ◇1世帯当たりのコスト 7,282 円

◇『資源の回収』行政コスト計算書

コスト ★	令和3年度	令和4年度
人件費（職員費等）	189,512	227,194
人件費（退職手当引当金繰入）	25,857	20,914
減価償却費	3,713	3,775
経費	2,541,219	2,542,767
事業コスト合計（千円）・・・①	2,760,302	2,794,650
収入 ★		
廃棄物処理手数料	46,907	46,455
宝くじ助成金	47,928	44,096
その他の収入	251,064	332,008
収入合計（千円）・・・②	345,899	422,560
差引コスト純額（千円）（①－②）・・・③	2,414,403	2,372,090
資源の回収量（トン）（各年度3月1日現在）・・・④	31,438	30,535
杉並区の世帯数（各年度3月1日現在）・・・⑤	323,130	325,728
1トン当たりコスト（円）（①÷④）	87,801	91,523
1世帯当たりコスト（円）（①÷⑤）	8,542	8,580
1トン当たり差引コスト純額（円）（③÷④）・・・⑥	76,799	77,684
1世帯当たり差引コスト純額（円）（③÷⑤）・・・⑦	7,472	7,282

- 令和4年度の事業全体のコストは27億9,465万円(①)、収入は4億2,256万円(②)、税負担額を表す差引コスト純額は23億7,209万円(③)となりました。
- 令和4年度の1トン当たりの資源の回収にかかる差引コスト純額は77,684円(⑥)、1世帯当たりの差引コスト純額は7,282円(⑦)となりました。

★補足

行政コスト計算書の作成にあたり、コストを以下のとおり整理しています。

種類	内 訳
人件費	資源の回収にかかるごみ減量対策課、杉並清掃事務所職員分 ※会計年度任用職員含む
経費	古紙・びん・かん・ペットボトル・プラスチック製容器包装回収費、 中間処理施設への搬入業務費、資源化・再商品化委託費、 資源回収用コンテナ購入費・洗浄費、集団回収団体への報奨金等
収入	廃棄物処理手数料、宝くじ助成金、資源回収に伴う売払代金等

◇資源の回収のコスト内訳

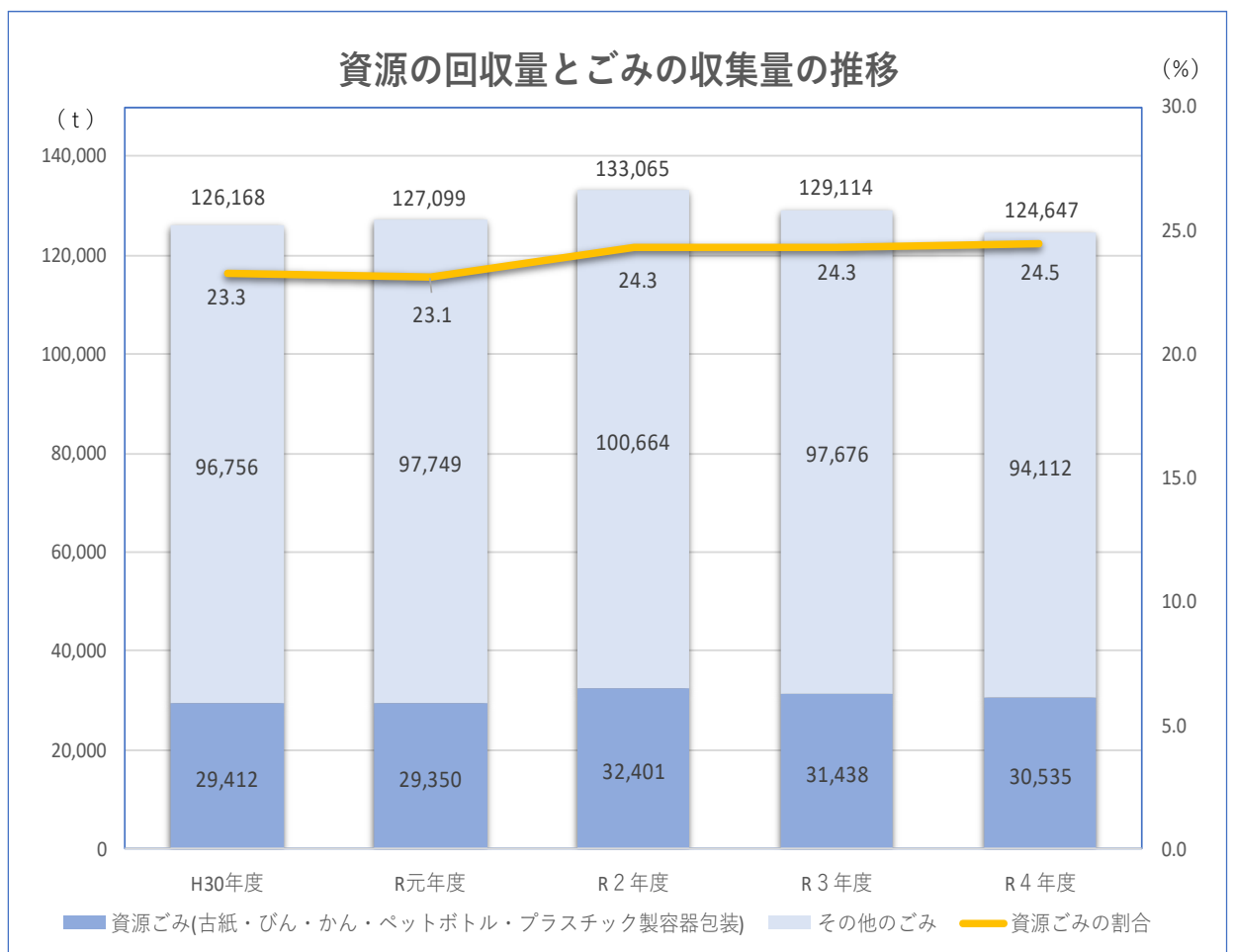
令和3年度	資源物 (びん・かん・古紙)	ペットボトル	プラスチック製 容器包装	合計
事業コスト				
人件費（職員費等）	75,253	54,045	60,215	189,512
人件費（退職給与引当金繰入）	10,283	7,343	8,231	25,857
減価償却費	1,238	1,238	1,238	3,713
経費	1,169,089	468,134	903,997	2,541,219
事業コスト合計（千円）	1,255,862	530,759	973,681	2,760,302
1トン当たりコスト（円）	51,684	218,779	206,595	87,801
1世帯当たりコスト（円）	3,887	1,643	3,013	8,542
収入				
廃棄物処理手数料	37,543	3,182	6,182	46,907
宝くじ助成金	0	0	47,928	47,928
その他の収入	191,679	59,284	100	251,064
収入合計（千円）	229,223	62,467	54,210	345,899
差引コスト純額（千円）	1,026,640	468,292	919,471	2,414,403
資源の回収量(トン)(3月1日現在)	24,299	2,426	4,713	31,438
杉並区の世帯数(3月1日現在)	323,130			
1トン当たり差引コスト純額（円）	42,250	193,031	195,093	76,799
1世帯当たり差引コスト純額（円）	3,177	1,449	2,846	7,472

令和4年度	資源物 (びん・かん・古紙)	ペットボトル	プラスチック製 容器包装	合計
事業コスト				
人件費（職員費等）	94,364	58,547	74,283	227,194
人件費（退職給与引当金繰入）	12,350	3,758	4,805	20,914
減価償却費	1,258	1,258	1,258	3,775
経費	1,178,588	464,216	899,963	2,542,767
事業コスト合計（千円）	1,286,560	527,780	980,310	2,794,650
1トン当たりコスト（円）	54,691	216,926	214,135	91,523
1世帯当たりコスト（円）	3,950	1,620	3,010	8,580
収入				
廃棄物処理手数料	37,035	3,269	6,151	46,455
宝くじ助成金	0	0	44,096	44,096
その他の収入	239,359	92,549	100	332,008
収入合計（千円）	276,394	95,819	50,347	422,560
差引コスト純額（千円）	1,010,166	431,962	929,962	2,372,090
資源の回収量(トン)(3月1日現在)	23,524	2,433	4,578	30,535
杉並区の世帯数(3月1日現在)	325,728			
1トン当たり差引コスト純額（円）	42,942	177,543	203,137	77,684
1世帯当たり差引コスト純額（円）	3,101	1,326	2,855	7,282

◇分析結果

- 事業コストについては、社会全体としての慢性的かつ深刻な人手不足の状況による人件費の高騰化に伴い、委託費等の経費が増加しています。
- 収入について、廃棄物処理手数料・宝くじ助成金は、ほぼ横ばいで安定的な収入を得ています。また、その他の収入は、金属ごみの買取価格の上昇に伴い増加傾向にあります。
- 差引コスト純額では、令和4年度が金属やペットボトルの相場の上昇の影響から、令和3年度に比べ低く抑えられています。

◇資源の回収量とごみの収集量



- コロナ禍の影響を最も強く受けた令和2年度に、外出制限・リモートワークの推進などに伴い、家庭からの資源の回収量・ごみの収集量が増えたものと推察されます。
- 資源全体の回収量は、令和2年度のピーク時と比較すると減少しつつあります。
- ごみの収集量に対する資源の回収量の割合は、ほぼ横ばいの状況にあります。

◇今後に向けて

- 利便性の高いペットボトルについては、令和4年度から実施したケミカルリサイクル※1によるボトル to ボトルを引き続き実施し、繰り返しペットボトルとして資源を循環していく取組をすすめます。
- 新たな資源化の取組では、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行に伴い、令和6年度に一部地域におけるプラスチック使用製品廃棄物の分別回収モデル実施を行い、令和5年度に行っている家庭ごみ排出状況調査の結果を検証しつつ、区内全域実施に向けた調査・検討を推進します。なお、全域実施にあたっては、受入に必要な設備を整備・拡充するなど、中間処理施設と十分な調整を踏まえる必要があります。これに伴い、今後プラスチック使用製品の分別収集と再商品化にかかるコスト等の増加が想定されます。

※1 廃プラスチックを化学的に処理し再利用するリサイクル手法

事業別行政コスト計算書
令和5年度

登録印刷物番号

05 - 0062

令和5年9月発行



杉並区役所

政策経営部財政課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南 1-15-1

TEL 03-3312-2111 (代)

☆杉並区のホームページでご覧になれます。<https://www.city.suginami.tokyo.jp>

● この冊子は、再生紙を使用しています。

みどり豊かな
住まいのみやこ